

**平成26年度**  
**医療介護総合確保促進法に基づく**  
**石川県計画に関する事後評価**

**平成27年6月**  
**石川県**

### 3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業	
事業名	地域医療ビジョン策定前の医療機関の機能分化・連携に資する事業	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア病床の病床数 0床 (H26.8) →300床 (H29.4)</li> <li>・かかりつけ医を持っている者の割合の増加 53.4% (H23) → 増加 (H28)</li> </ul>	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業	
事業名	「急性期病床」から「地域包括ケア病床」への転換を促すための施設・設備の整備	【総事業費(H26)】 124,056千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	地域包括ケア病床の病床数 0床 (H26.8) → 300床 (H29.4)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成26年度は、17病院の施設整備等に対して補助を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 補助を行った17病院については、地域包括ケア病棟への転換が進んだ(17病院で422件)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、石川県の全域において、地域包括ケア病棟への移行が進み始めたところである。</p> <p>(2) 事業の効率性 事前に希望する病院の有無をアンケートしていたこともあり、効率的に実施できたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	医療と介護の連携促進のためのモデル事業	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	訪問診療を受けた患者数 29,710人(H24) → 増加(H29)	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	精神障害者の地域生活支援の検討	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	退院患者平均在院日数(病院) 226.0日(H23) → 短縮(H29)	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	在宅歯科医療連携拠点・障害者向けの歯科診療所等の施設整備	【総事業費(H26)】 0 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	在宅療養支援歯科診療所数 43 件 (H26) → 増加 (H28)	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他	別掲「歯科衛生士養成施設の施設整備」と併せて実施	

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	ナースセンター運営費	【総事業費(H26)】 2,249千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了 ※平成27年度以降は、別掲「ナースセンターの強化」と一本化して実施	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者登録数 300人台を維持 (H26)</li> <li>・年間の就業者数 125人 (H25) → 150人 (H26)</li> <li>・訪問看護ステーションへの就業者数 6人 (H25) → 10人 (H26)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースセンター運営会議を年2回実施。</li> <li>・無料職業紹介として個々の実状に合わせ、求人情報の提供、相談、指導を実施し、医療機関等とのきめ細やかなマッチングを実施。</li> <li>・訪問看護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①実態調査</li> <li>②訪問看護ステーション・医療機関に勤務する看護師の相互研修</li> <li>③医療機関看護職研修</li> <li>④在宅終末期ケア研修</li> <li>⑤訪問看護ステーション間（管理者等）の相互研修</li> <li>⑥精神科看護研修</li> <li>⑦訪問看護基礎研修</li> <li>⑧訪問看護フォーラム</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者登録数 385人 (H27.3)</li> <li>・年間の就業者数 142人 (H27.3)</li> <li>・訪問看護ステーションへの就業者数 9人 (H27.3)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>ナースセンター運営会議を通し、需要者側、供給者側、関係団体、県行政が、ナースバンクの実状や課題を共有し、協力体制を構築することが出来、地域で支援する体制が整い始めた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>ナースセンターでは看護職の定着・確保の「総合拠点」として、転職（就職）や復職等の事業を一括して実施したことにより、効率的な執行ができたと考える。</p>	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	専門医養成プログラムの策定	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成30年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	能登北部4病院の常勤医師数 59人(H25) → 63人(H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は未実施。平成27年度に当該基金とは別財源で、「石川県専門医認定支援事業」として県立中央病院及び金沢大学附属病院等で事業を実施している。(当該基金の活用については、今後検討。)</p>	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	3. 医療従事者等の確保に関する事業	
事業名	女性医師支援（代診医の派遣体制整備）	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成30年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設に従事する女性医師の割合 17.3% (H24) → 増加(毎年度)</li> <li>・能登北部4病院の常勤医師数 59人 (H25) → 63人 (H29)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は未実施。平成27年度に基金を活用し、「地域病院医師確保サポート事業」として、金沢大学附属病院で実施。</p>	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	ナースセンターの強化	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	求職者登録数 345人(H25) → 400人(H29) (相談員を増員し、ナースセンターの広報活動を行い、看護職員及び施設に対する認知度を上げ、活用につなげる。)	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他	平成27年度以降は、「ナースセンター運営費」と一本化して実施。	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	看護師等学校養成所の施設・設備整備事業	【総事業費(H26)】 30,980千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	看護師等学校養成所の入学定員の充足率 90% (H26) → 91% (H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁紙補修工事、空調更新工事（七尾看護専門学校）</li> <li>・トイレ改修工事（金沢医療センター）</li> <li>・トイレ改修工事（金沢医療技術専門学校）</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師等学校養成所の入学定員の充足率：90% (H27.4) 工事の着工が年度末の養成所もあり、結果が数値としてはまだ現れていないと考える。今後の状況を継続的にみていきたい。</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 本事業の実施により、看護師等養成施設の改修工事等が行われ、学生の利便性が向上し、また、教育環境の充実が図られた。このことが、看護師確保につながると考える。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 事業開始前に各養成施設の工事の実施時期を調査することで、効率的に補助金の交付が行えたと考ええる。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	歯科衛生士養成施設の施設整備	【総事業費(H26)】 0 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	人口10万人あたりの就業歯科衛生士数 73.5人(全国84.8人) (H24) → 増加(H28)	
事業の達成状況	<b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他	別掲「在宅歯科医療連携拠点、障害者向けの歯科診療所等の施設整備」と併せて実施	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	医療勤務環境改善支援センターの設置	【総事業費(H26)】 0千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	人口10万人あたりの医療施設従事医師数 264.1人(H24) → 増加(H26)	
事業の達成状況	(1) 事業の実施状況 平成26年度は事業実施に向けた調整を行い、平成27年度から基金を活用する。	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	医学部進学セミナー開催事業	【総事業費(H26)】 343 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部進学者数 80人台 (H21以降) → 維持 (H26)</li> <li>・医学部進学セミナー参加者数 80人程度 (H26)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 「石川県医学部進学セミナー」を平成26年8月4日に開催</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部進学者数 77人 (H26) 目標とする80人台にはわずかに届かなかったが、今後も県内高校と連携し、達成に努めたい。</li> <li>・医学部進学セミナー参加者数 約80人 (H26)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 県内の医師や医学生が講師となり、直接学生に地域医療の魅力を伝えることで、県内高校からの医学部進学者を増加させることにより、将来の医師確保を図った。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 開催にあたり、医学部入試に精通する有名進学塾と委託契約を結ぶことによって、効率的な執行ができた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	石川の地域医療人材養成支援事業	【総事業費(H26)】 14,000千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	能登北部4病院の常勤医師数 59人(H25) → 63人(H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <p>①特別枠医学生のキャリア形成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別枠医学生に対する定期的な進路相談・助言</li> <li>・特別枠医学生に対する地域医療実習の実施</li> <li>・特別枠医学生と県知事、地域医療関係者との交流会の開催</li> </ul> <p>②特別枠医学生の卒業後の医療機関への配置に向けた調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置先検討のため、各医局との情報交換</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> 能登北部4病院の常勤医師数 60人(H27)</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 将来、医師不足地域で勤務することとなる特別枠医学生に対し、進路相談や地域医療実習を実施することで、特別枠医学生のキャリア形成を支援した。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 医学生の指導に長けた金沢大学附属病院に委託することにより、特別枠医学生に対してよりきめ細やかな対応ができた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	臨床研修医確保対策推進事業	【総事業費(H26)】 1,410千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修医の採用数 90人台(H22以降) → 維持(H26)</li> <li>合同説明会参加者数 120人程度(H26)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「石川県臨床研修病院合同説明会」の開催(H26.10.13) 県内の臨床研修医や後期研修医としての就業を誘致するシンポジウムを開催</li> <li>「臨床研修指定病院合同セミナー」への参加 東京・名古屋・大阪の医学生を中心に県内での臨床研修を誘致</li> <li>「石川県臨床研修推進協議会」の開催 県内の臨床研修病院及び県により構成し、研修内容の向上、研修医の確保方策等を検討</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修医の採用数 103人(H27) ※自治医大分除く</li> <li>合同説明会参加者数 約200人(H26) (医学生、臨床研修医、臨床研修病院関係者)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>「石川県臨床研修病院合同説明会」には県内のすべての臨床研修病院が参加しており、県内における臨床研修医や後期研修医の確保に寄与している。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>「石川県臨床研修病院合同説明会」の開催にあたり、各臨床病院等との連携により、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	臨床研修病院指導体制強化事業	【総事業費(H26)】 598千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修医の採用数 90人台(H22以降) → 維持(H26)</li> <li>研修参加者数 100人程度(H26)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は県内病院等で3回講義・研修を実施</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修医の採用数 103人(H27) ※自治医分除く</li> <li>研修参加者数 約180人(H26)</li> </ul> </p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 全国から著名な医師を招へいし、講義や研修を実施することで、県内臨床研修病院の指導医が効果的な指導方法を学び、指導体制を強化するとともに指導技術の向上及び意識改革の促進を図り、研修医にとって魅力的な研修体制の構築を図った。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 招へいする医師の選定を各病院が行ったことにより、各病院の人脈等により話題性とタイミングの良い人選が可能となり、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	ふるさと石川の医療を守る人材ネットワーク推進事業	【総事業費(H26)】 1,206千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	能登北部4病院の常勤医師数 59人(H25) → 63人(H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 「ふるさと石川の医療を守る集い in 東京」を11月に東京で開催</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> ・能登北部4病院の常勤医師数 60人(H27.4)</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 「ふるさと石川の医療を守る集い in 東京」には、首都圏の医師、県内医療関係者等約70人が参加し、意見交換・交流を実施し、人材情報ネットワークの拡大を図ることができた。 能登北部4病院で実施している地域医療研修において、東京、大阪など県外の大学からの初期臨床研修医の参加につながっている。 平成26年度は、県外から19名が参加した。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 一同に会して、意見交換することにより、首都圏の多くの医師に石川の地域医療の現状等を理解していただくことができた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	地域医療支援センター運営費	【総事業費(H26)】 3,899千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	能登北部4病院の常勤医師数 59人(H25) → 63人(H29)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 「地域医療支援センター」の事務を担当する職員1名の人件費</p> <p>(2) 目標の達成状況 ・能登北部4病院の常勤医師数 60人(H27.4)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 県内の医師不足の状態等を医師数調査や各種統計により、把握・分析し、医師のキャリア形成支援と医師不足病院の医師確保の支援に係る事務を行った。</p> <p>(2) 事業の効率性 地域医療支援センターの事務を行う職員は、臨床研修や特別枠の貸与等の担当者でもあることから、知見があり、地域医療支援センターの事務を一体的に行うことで効率的に事業を実施できた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	女性医師就業継続支援事業	【総事業費(H26)】 3,200千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設に従事する女性医師の割合 17.3% (H24) → 増加 (H26)</li> <li>・女性医師支援セミナー参加者数 100名程度 (H26)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①女性医師のための相談窓口の設置・情報提供 女性医師メンターによる相談窓口の設置</li> <li>②女性医師支援セミナーの開催 先輩女性医師の経験談や、仕事と家庭の両立に役立つ行政サービスを紹介するセミナーを開催</li> <li>③女性医師支援センターの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性医師支援コーディネーターによる病院訪問等</li> <li>・ホームページの更新やセンターPRのパンフレットの作成等</li> </ul> </li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療施設に従事する女性医師の割合 H26の数値未公表(国調査)</li> <li>・女性医師支援セミナー参加者数 約270名(H26)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>女性医師支援のパンフレットの作成や、各大学で医学生に対し講義を行うことで女性医師が勤務を継続していくための普及啓発を行った。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>石川県医師会に委託することで、効率的な執行ができたと考えられる。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	産科医等確保支援事業	【総事業費(H26)】 22,264千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	出生者千人あたりの産科医師数 11.2人(H24) → 維持(H26)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師、助産師の分娩手当支給医療機関への助成 16医療機関 7,017千円</li> <li>・ 研修医の研修医手当を支給する医療機関への助成 1医療機関 400千円</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> ・ 出生者千人あたりの産科医師数 H26の数値未公表(国調査)</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 産科医等の処遇を改善し、産科医数等の維持を図っている。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 交付申請希望のあった全医療機関に対し助成できた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	看護師等養成所運営事業	【総事業費(H26)】 517,768千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	当該事業を実施する看護師等養成所における看護師等の県内就業率 92.9% (H26) → 94.0% (H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 平成26年度は県内の看護師等養成施設4校に補助金を交付。</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> ・当該事業を実施する看護師等養成所における看護師等の県内就業率88.8% (H27.4) 入学時点での県外出身者の割合が高かったため、県内就業率が減少したと考える。当該年度だけでは事業の有効性を判断できないため、今後の動向をみていきたい。</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 看護師等養成施設の運営費を助成することにより、教育内容を向上し、看護職員の確保及び資質の向上を図ることができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	新人看護職員研修事業	【総事業費(H26)】 44,080千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	新人看護職員の離職率 4.4% (H25) → 4.0% (H26)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <p>平成26年度は以下のとおり事業を実施。</p> <p>①新人看護職員研修事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自施設職員研修 36病院に補助</li> <li>・他施設職員受入研修 3病院に補助</li> </ul> <p>②教育担当者研修事業 51人参加 1日公開講座実施</p> <p>③新人看護職員研修推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3病院に教育アドバイザー派遣3回/年</li> <li>・地区ごとの取組状況報告会を実施</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護職員の離職率 4.7% (H27.3)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>新人看護職員が入職するも、新人看護職員研修事業体制が構築されていない病院に対し、教育アドバイザーを派遣し、体制が整い始めた。また、事業報告会を地区ごと(3カ所)に実施することによって、地域全体で顔の見える関係が構築され始めた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>小規模な病院においても、教育体制を構築することで、石川県内どこの病院に就職しても新人看護職員が必要な教育を受けられる仕組みづくりを実施することにより効率的な執行が出来たと考える。</p>	
その他	本年度、教育担当者研修の1日を公開講座としたことで、新人看護職員研修事業の普及に効果的であったため、翌年度はテレビ会議システムを活用し、地域で公開講座を聴講できるよう、サテライト会場を設置する。	

業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	看護師等資質向上研修事業	【総事業費(H26)】 3,192千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	受講者数 33人(H25) → 40人(H26)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b>  以下のとおり、2分野の15日間研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護：金沢大学附属病院</li> <li>・認知症看護：石川県立高松病院</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん看護：15人受講(9施設)</li> <li>・認知症看護：20人受講(17施設)</li> </ul> <p style="text-align: right;">受講者計 35名</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b>  がん看護、認知症看護に日頃携わっている中堅看護師が、専門の医師や薬剤師など他職種から最新の医療を学んで自施設に持ち帰り、スタッフの指導やチーム医療のキーパーソンとして臨床実践を行うことで、各施設での看護師の質の向上にもつながっていると考える。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b>  各専門分野の研修の実績が多い病院に委託することで、効率的に研修を実施することができた。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	専門的看護実践力研修事業	【総事業費(H26)】 3,394千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 □継続 / □終了 ※平成26年度は、当該基金ではなく別財源を活用。	
事業の目標	受講者数 400人 (H26)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別実践看護師養成研修：救急看護、感染管理、糖尿病看護、母乳育児支援の4分野で5日間研修を実施。</li> <li>・課題解決型研修：災害看護、皮膚排泄ケア、慢性呼吸器疾患看護の3分野で集合研修を実施。</li> <li>・管理者経営研修：4日間の研修を実施</li> <li>・看護補助者活用推進管理者研修：集合研修で3施設のアクシオンプラン紹介</li> </ul> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別看護師養成研修：受講者 184名</li> <li>・課題解決型研修：140名</li> <li>・管理者経営研修：104名</li> <li>・看護補助者活用推進管理者研修：87名      受講者計 515名</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b></p> <p>専門・認定看護師を活用した専門技術の高い研修であり、中堅看護師のモチベーションに繋がり、資格取得の動機付けとなっている。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b></p> <p>石川県認定看護師育成支援事業を利用した専門・認定看護師が中心となって研修を組み立てることで、専門領域や地域・施設を越えての交流ができ、県内看護職の質の向上のみならず、施設間や地域連携の一助にもなっている。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	認定看護師養成コース運営費	【総事業費(H26)】 2,940千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	県内の感染管理認定看護師 19人(H26) → 60人(H29)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 感染管理認定看護師教育課程 平成26年7月16日～平成27年2月18日(7か月間)</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> 感染管理認定看護師数 H27の数は不明(修了試験の結果による) なお、平成26年度の養成コース受講者は30人 (うち石川県からは20人)</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 県内で認定看護師養成コースを開設することで、人員不足や経費負担等の事情から、県外では長期間の研修受講が難しい病院や施設が、受講者を出しやすくなり、大病院ばかりでなく、県内全域の各病院で認定看護師養成の体制が作られてきている。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 県内で認定看護師養成コースを開設することで、県内全域の病院からの受講者がいるため、県内看護師の質の向上になり、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	臨床実習指導者養成事業	【総事業費(H26)】 2,141千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	受講者数 42人(H25) → 募集定員(40人)並を維持(H26)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成26年7月9日～9月5日(240時間)石川県実習指導者講習会を実施</p> <p>(2) 目標の達成状況 ・受講者41人</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 講習会を通して、中堅看護師が、専門分野の看護知識だけではなく、看護教育や実習指導の原理等を学び、演習を行うことで臨床実習指導者の指導能力の向上につながっている。</p> <p>(2) 事業の効率性 大学の看護学科の新規開設、看護師養成所の定員増により、これまで実習生を受入れていなかった病院が、新規に実習施設となることから受講希望が強く、状況を鑑みて要望を取り入れることで、計画的に実習指導者を養成することができ、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	看護教員現任研修事業	【総事業費(H26)】 1,219千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	看護師等の県内就業率 91.1% (H25) → 92.0% (H26)	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 看護教員の資質を向上させるため、新任・中堅看護教員に対する研修を実施し、看護教員の経験に応じた継続研修の充実を図った。 ・看護教員研修（講義・演習）5回 計25時間 受講生242名</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b> ・看護師等の県内就業率 83.7% (H27.3)</p>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 事前に看護教員に研修内容の希望調査を実施し、実際の教育現場での切実な課題についての、演習や共感ロールプレイなどの方法で研修を実施したことにより、看護教員の質の向上につながった。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 県内全体の看護教員が研修に参加することで看護教育の質の向上が図れたため、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	院内助産システム普及事業	【総事業費(H26)】 1,801 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	助産外来 9施設(H25) → 11施設(H26)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 助産師のためのスキルアップ研修及び助産外来実施施設の見学研修を実施。</p> <p>(2) 目標の達成状況 ・助産外来 9施設(H26)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 今後、産科医の確保が困難となることが予想される中、助産師のスキルアップにより産科医の負担軽減につなげることができる。</p> <p>(2) 事業の効率性 ハードルが高い産科医の確保だけでなく、助産師の技術を活かすことにより県内の産科医療の向上が図れる。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	病院内保育所運営事業	【総事業費(H26)】 114,476千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を実施する病院における定年以外の退職者数 72名(H25) → 60名(H29)</li> <li>・当該事業を実施する病院における未就学の児童のいる職員の途中採用者数 9人(H25) → 13人(H29)</li> </ul>	
事業の達成状況	<p><b>(1) 事業の実施状況</b> 院内保育所を運営する5病院に補助金を交付。</p> <p><b>(2) 目標の達成状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を実施する病院における定年以外の退職者数 63名(H27.4)</li> <li>・当該事業を実施する病院における未就学児童のいる職員の途中採用者数 14人(H27.3)</li> </ul>	
事業の有効性・効率性	<p><b>(1) 事業の有効性</b> 本事業の実施により、未就学児童を持つ医療従事者の就業環境が整い始め、離職防止につながったと考える。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 既に看護職についている職員の離職を防止することで、県内の看護師不足の解消を効率的に行えると考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	小児救急電話相談事業	【総事業費(H26)】 10,443千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	高度専門小児医療機関における時間外の患者数 11,201人(H24) → 減少(H26)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 毎日夜間(18時から翌朝8時まで)電話相談事業を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 高度専門小児医療機関における時間外の患者数: 11,267人(H25)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 夜間に子どもの保護者が医療機関を受診すべきかどうか、判断に迷った際に、保護者に安心感を与えるとともに、症状に応じた適切な医療の提供に寄与している。</p> <p>(2) 事業の効率性 委託業者の選定をプロポーザル形式とすることで、相談体制の質の確保及び経費の抑制を図り、効率的に事業を執行している。</p>	
その他		